

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	キッズルーム ライチ			
○保護者評価実施期間	令和 7 年 1 月 10 日 ～ 令和 7 年 1 月 24 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	31名	(回答者数)	24名
○従業者評価実施期間	令和 7 年 1 月 10 日 ～ 令和 7 年 1 月 24 日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7名	(回答者数)	7名
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 2 月 10 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援計画作成に向けた面談以外に必要な応じて利用児に関すること、またそれ以外に関することで面談を実施している。	面談の場面を設定する以外で送迎時等にも現状の情報共有したり、その時々での相談等を行っている。 高等部の利用児の保護者とは卒業後の進路に関する相談援助を行ったり、そこに向けて今現在何が必要か等話しを行っている。	日頃から保護者との交流をしっかりと持ち、信頼関係を構築できるよう努めていく。また小さなことでも気になることがあればすぐに相談等出来る体制を取り、支援に活かしていく。
2	必要な応じて利用児の関係機関（相談支援専門員、他事業所、学校等）との連携を図っている。	日々、サービス提供中の様子を見ながら必要に感じる都度連絡を取り合うよう努めている。状況に応じて支援会議が必要な場合は早々に実施できるよう発信を行っている。	事業所同士の横の繋がりを増やしていき、スムーズな情報共有や支援方法の検討等行える形を作っていく。
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	個別での家族支援は行っているが、保護者間の交流の機会を設定できていない。	保護者のニーズとしてどのようなものがあるのか、今回の「保護者向け 放課後等デイサービス評価表」からだけでは拾いきれず、全体としてどのような希望があるのか確認する必要あり。	面談時等、しっかりと話せるタイミングでどのような要望があるのか聞き取りを行い、ニーズに合わせた支援を提供していく。
2	地域資源の活用や児童館を利用する頻度が少なく、事業所内でサービスが完結することが多い。	課外活動として外出することはあるが、行先として児童館等ではなく、季節に応じたイベント等への参加が主となっている。	地域にある活用できる施設を調べ、今まで行ってきたこと以外の活動が提供できるよう努めていきたい。
3			